

どんど焼きは地域の住民が、藁や青竹でやぐらを作り、持ち寄った門松やしめ縄などの縁起物と一緒に燃やし、正月飾りを目印に家に来てくださった年神様を、正月飾りを燃やした煙と一緒に見送るといった意味があるとともに、縁起物を燃やして、集落の人々の1年間の災いを払い、五穀豊穡や商売繁盛、家内安全、無病息災、子孫繁栄を願うものです。

全国的には1月15日頃に行われますが、竹野界限では7日に実施されているようです。近年、温暖化による異常気象により、稲作を始めとした農産物に悪影響が及んでいます。今年こそは五穀豊穡を願いたいものです。

(農業委員 瀧下 康德)



全国農業新聞を購読してみませんか!

農業の最新情報を提供

週刊(毎週金曜日発行) 月700円
(送料、消費税込)

*お申し込みは

農業委員会事務局または、
地元の農業委員・推進委員
まで

編集後記

農業・農村は、生きていくために必要な米・野菜などの生産の場だけでなく、水田は雨水を二時的に貯めて洪水や土砂崩れを防ぎ、コウノトリなど多様な生き物を育んでいます。また、農村の風景は私たちの心を和ませてくれるなど、その恵こそが農業・農村がもたらす多面的機能です。

離農者や耕作放棄地が増える中、人口の減少も重なり祭りなどの伝統文化の維持が難しくなっています。今、将来にわたって農業・農村の機能をどのように維持するかが最大の課題だと思っています。課題・問題点は、その都度農業委員会など行政にご相談いただき、集落ごと一丸となって取り組んでいきたいものです。

終わりに、本誌の発行にご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。

(編集委員長 原 清美)



農委だより第60号は私たちが担当しました。

後列左から 松本委員、瀧下委員、橋本委員、
田中委員、鳥尾委員
前列左から 桑田委員、平峰委員、原委員、
尾藤委員、鞍留委員



環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

本紙掲載の写真・イメージフォト・イラストは許諾を得て掲載しており、無断転載を禁じます。